

令和7年度 石巻地区中学校新人総合体育大会ソフトボール競技 要項

- 1 主催 石巻市ソフトボール協会
- 2 共催 石巻地区中学校体育連盟 石巻市教育委員会 東松島市教育委員会 女川町教育委員会
東松島市ソフトボール協会 女川町ソフトボール協会
- 3 主管 石巻地区中学校体育連盟ソフトボール部専門部
- 4 後援 石巻地区中学校校長会 石巻地域スポーツ協会連絡協議会 県高等学校体育連盟石巻支部
石巻日日新聞社 石巻かほく
- 5 期日 令和7年 9月20日(土)
※予備日 9月21日(日) 24日(水) 25日(木)
- 6 会場 矢本運動公園多目的グラウンドA球場(東松島市大曲堺堀80)

- 7 大会役員
大会会長 武山 源一郎
大会副会長 會田 晋一 和泉 千佳子
総務委員長 千葉 僚
総務副委員長 松川 正幸
総務委員 後藤 正和 遠藤 宏 村上 雅紀
審判長 佐々木 保(石巻市ソフトボール協会)
副審判長 阿部 光博 大島 満雄
審判員 石巻地区ソフトボール協議会 所属審判員
競技委員長 後藤 純
競技委員 津田 大輔 大沼 泰優 内海 佳美 成澤 芳智 小林 里紗
救護 濱田 純子(矢本二中)

8 参加校

石巻市立石巻中学校 東松島市立矢本第一中学校 矢本第二・蛇田中学校

9 引率者及び監督等

(1) 監督、引率は当該校の校長、教員に限る。

(2) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者、トレーナー等は運動部活動中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。

10 選手登録について

規定の申込用紙に必要事項を記入の上、9月16日(火)必着で、下記の宛先にメールで申し込むこと。

(職印を押印し、PDF化したものを送信してください)

東松島市立矢本第一中学校 後藤 純 電話 0225-82-2146

E-mail : chief@yamoto1-j.higashimatsushima-c.ed.jp

11 参加費

1チーム8,000円(合同チームは折半)

12 チーム

選手18名、監督1名、引率責任者1名、コーチ1名の計21名以内とする。

13 競技方法

- (1) 総当たり戦
- (2) 上位1チームが宮城県大会への出場権を得るものとする。

14 表彰

優勝チームには優勝旗（持ち回り）・賞状、準優勝チームには賞状をそれぞれ授与する。

15 組合せ・時程

【総当たり戦枠】

	1 矢本二・蛇田	2 矢本一	3 石巻	勝	負	順位
1 矢本二・蛇田		①	③			
2 矢本一	①		②			
3 石巻	③	②				

【試合順】

- ① 1 対 2
- ② 2 対 3
- ③ 1 対 3

	開始時間	
監督会議	本部前 8:30	
第1試合	9:30～	①
第2試合	11:30～	②
第3試合	13:30～	③
表彰式	15:00	

※2試合目以降は、状況により早まる可能性もある

16 大会申し合わせ事項

(1) ルール（公式ゲーム）に関する事項

- ①外部指導者（コーチ）登録は1名とし、ユニフォームナンバー31または32とする。
- ②ユニフォームの背中に個人名を入れる際には、プログラムに掲載の姓名を表示すること。（姓または名のみでもよいが、ニックネームなどは不可とする。）また、学校教育の発表の場であることを踏まえ、ユニフォーム・ヘルメットに広告を入れることは認めない。（チーム名の表示は可）
- ③監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）のユニフォームの上着は、選手と同色・同意匠のものとする。裾を外に出すユニフォームの時は、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）は中に入れるタイプのもでもかまわない。
- ④選手が襟付き、またはノースリーブのユニフォームの場合、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）も同じものを着用する。また、選手が半ズボンの時、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）は同色のズボンで良い。（サイドラインなどがなくてもかまわない）
- ⑤合同チームのユニフォームについては統一されたものが望ましいが、統一できない場合であっても、ユニフォームナンバーの重複はしないこと。また、大会本部の判断によりビブスの着用を求めた場合には応じること。

(2) 競技（公式ゲーム）に関する事項

- ①登録選手以外の選手は、自チーム側の応援席に在ること。
- ②競技場の外野及びファール地域フェンスの内側には、校旗（部旗）・横断幕・のぼりなどを掲示しない。
- ③監督を兼務しない引率者の服装は、襟付きのシャツ・長ズボン・またはスカートで靴を履くこと。（Tシャツ、サンダル、ハイヒールは禁止）
- ④試合中は、ベンチ内で写真・動画の撮影は行わない。
- ⑤投球時、投手がセットしたらリリースするまで、ベンチもスタンドも応援を中断する。
- ⑥応援は鳴り物（ペットボトル・うちわなども含む）は禁止する。大会の品位を汚すような野次や、審判員のコールに対する野次があった場合には、試合を中断して当該監督を指導し、対処する。
- ⑦ゲーム中の控え選手のピッチング練習は、ファール地域で1組のみとする。捕手は必ずマスクを着用すること。
- ⑧応援席などベンチ外から作戦指示・それにとまなう助言はしてはならない。そのような行為が見られた時は、監督または該当者に注意する。

17 競技上の注意

- (1) 2025年オフィシャルルールを適用する。ただし、時間制を採用し、80分を越えて新しいイニングに入らないこととする。後攻のチームが勝っていて攻撃中のときは、その打者をラストバッターと宣告する。また、勝敗が同数になったときの順位付けは下記のとおりとする。

①直接対決の結果

②全試合の得点率－失点率の大きいチーム

$$\frac{\text{3試合の総得点}}{\text{3試合の攻撃アウト数}} \quad \text{—} \quad \frac{\text{3試合の総失点}}{\text{3試合の守備アウト数}} \quad \text{で計算する。}$$

- ・80分が経過した時点で後攻チームが勝っていて攻撃中のときはその打者をラストバッターとして試合を終了する。攻撃途中であってもそのアウト数と得点は計算に加えることとする。

③スタメン9人による抽選

- (2) 打順表は試合開始30分前までに4部提出する。その際、必要事項を記入し、氏名には必ず「ふりがな」をつけること。試合が連続する際はこの限りではない。
- (3) ベンチは組合せ番号の若いチームを1塁側とする。ただし試合が連続する場合は、時間短縮のため同じベンチを続けて利用することとする。
- (4) 背番号については、主将10番、監督30番、コーチ31番または32番とする。
- (5) 使用球は公認球ゴム3号（ナガセケンコー コルク芯）とする。
- (6) セラミック製及び金属製スパイクは使用させない。
- (7) 打者、次打者、走者、捕手、コーチボックス内の選手ともヘルメットを着用し、捕手（捕手代行も含む）は、準備投球時からスロートガード付きマスクを着用する。また、投手の下手投げを受ける者は、練習であってもマスクを着用すること。
※監督、コーチが準備投球の捕手をするときも、スロートガード付きマスクを着用すること。
- (8) グランドルール、その他特別な事項は、必要に応じて球場主任が関係者と協議のうえ決定する。本大会は外野フェンスを使用せず、外野フェンスラインにボールを置くこととする。試合球が抜けた際は、打球の抜けた一番近くのボールで試合を継続する。
- (9) フィールディングは全ての試合で後攻のチームから行い、5分以内とする。また、ノックを行うことができるのは1人とする。
- (10) 監督、コーチ、引率責任者、選手以外の試合の関与を認めない。（当該者の退場処分もあり得る）

- (11) 抗議は監督に限る。
- (12) 試合は総当たり戦で行い、80分を超えて次のイニングには入らない。同点の場合は引き分けとする。
また、グラウンド状況が悪く、試合開始時間が遅れる場合は、協議のうえ、試合時間を短縮して行うこともある。
- (13) コールドゲーム（3回15点差、4回10点差、5回7点差、降雨5回）もあるので、状況に応じて対応する。
- (14) サスペンデットゲームを採用する。
- (15) 監督会議以降、登録選手の変更は一切認めない。
- (16) 雨天の場合の再試合は、大会会長、審判長と競技委員長、競技副委員長の話し合いで決定する。
- (17) 試合が連続する場合は、選手の疲労・負担を考慮し30分以上時間を空ける。
- (18) 気温・湿度が上昇し、熱中症が心配される場合には、監督会議において確認した上で、以下の場合に給水タイム（3分）を設ける。その際、場内のアナウンスに従い両チームともベンチ内で休憩する。この間のベンチ内での応援の声出しなどは行わないこと。なお、攻守交代時にも給水を行うこととする。
 - ① 同一チームの守備時間が20分を超えるとき。
 - ② 3回表、5回表終了時。※給水タイム中は計時を止める。給水後の投手の準備投球は3球以内とする。

18 連絡事項

- (1) 大会参加チームはグラウンド整備、会場の片付け等を行うこと。
 - ①本部の片付け、トイレ掃除
 - ②試合会場のグラウンド整備
 - ③練習会場のグラウンド整備
- (2) 大会中は本部前で打合せ（監督会議）を8：30から行う。
- (3) 会場への電話による直接の問い合わせはできない。
- (4) 選手は中学生にふさわしい髪型、身だしなみであること。試合中はもちろん、試合の前後においても、スポーツウーマンらしく、しっかりとしたマナーを身につけるように心掛けること。
- (5) 大会運営中の車両へのいたづらや事故には、大会本部は一切責任をもたない。
- (6) 雷鳴があった場合は、各球場直ちに試合を中断し、野球場ベンチや車内等で待機とする。雷が鳴り終わってから20分後に試合を再開する。
- (7) 運動公園の球場内での練習は、8：00より可とする。
- (8) 多目的グラウンドB球場を練習会場として使用できる。保護者は練習に参加できないこととする。
- (9) 雨天等順延の判断は当日の5：30に行う。（競技委員長、部会長、協会代表）
5：45頃に中体連HPで各校確認をする。
- (10) 不審者を発見した場合は、速やかに本部へ報告をする。生徒が発見した場合は、近寄らず、近くの役員または保護者へ報告するよう、各校で事前に話をすること。また、生徒はB球場奥のトイレを使用すること。
- (11) 矢本運動公園駐車場には、バスを駐車することはできない。（乗降可）
バスを駐車する場合は、矢本海浜緑地公園隣の砂利駐車場を使用すること。（別紙参照）

【 表彰式 】

司会（ 千葉 僚 ）

選手整列

- 1 開式宣言 (司会)
- 2 成績発表 (競技委員長 後藤 純)
- 3 表彰 (石巻地区中体連ソフトボール専門部会長 會田 晋一)
介添え (小林 里紗)
- 4 大会会長挨拶 (石巻市ソフトボール協会 会長 武山 源一郎)
- 5 閉式宣言 (司会)